

アライグマ専用の捕獲器

ラクーンキューブ

設置マニュアル Ver 1. 0



埼玉県農業技術研究センター

鳥獣害防除担当
(2021年4月)

目 次

- 1 ラクーンキューブについて 1
- 2 設置について 2
- 3 捕獲器の管理について 3

SAKAE HILLS
UNIQUE U TYPE Raccoon Cube

アライグマ専用捕獲器

全く新しい捕獲器の誕生です。
ネコやハクビシンなど
誤った捕獲を発生させません！
アライグマだけを効率的に捕獲出来ます。



Raccoon Cube
アライグマ

No. TO-01

製品概要（プラスワンスタイル株式会社）

1 ラクーンキューブについて

○ラクーンキューブの特徴

タヌキやネコを誤って捕獲してしまう錯誤捕獲を解消したアライグマ専用の捕獲器です。また、「筒式トリガー」を使用することによりアライグマを二足起立させた状態で捕獲するため、捕獲器の奥行きが短くなっています。

○筒式トリガーの仕組み

アライグマは前肢を手のように使い狭い隙間などの奥の方にあるエサを採ることができます。その特有な行動を利用し、アライグマだけが作動させることができる17cmの位置に仕掛けを配置してあります。

なお、タヌキ・ハクビシン・テンは、鼻や頭を入れる程度で到達距離は5～10cm、ネコ・アナグマは、前肢を使い16cmまで到達することが確認されました。



各動物の筒内到達距離



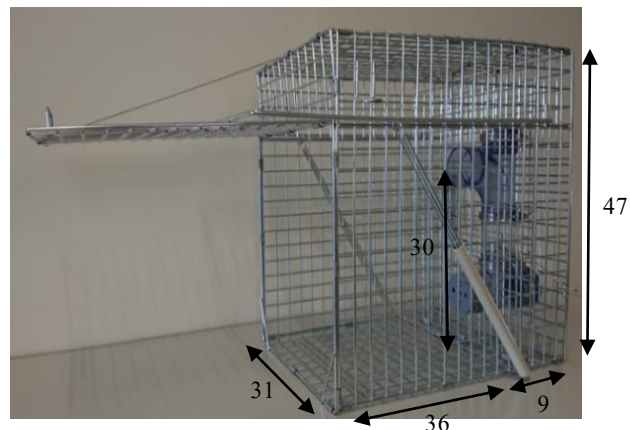
筒式トリガーの仕組み

○捕獲器の形状

ラクーンキューブは、筒式トリガーを採用したことにより、二足起立させた状態で捕獲するため、高さは47cmと長くなりましたが、動物収容スペースの奥行きは36cmと短くなっています。一般的に使用されている捕獲器の形状は、幅30cm、高さ30cm、奥行き80cm前後です。



捕獲直前の二足起立したアライグマ



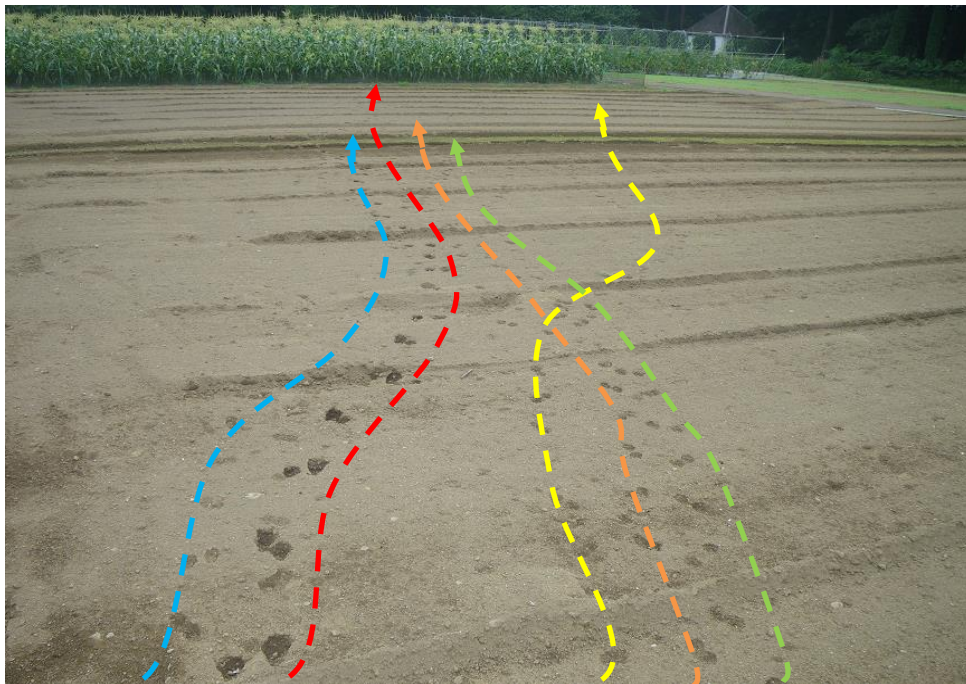
捕獲器の形状

2 設置について

○痕跡、侵入経路、獣道を見つける

足跡などの痕跡を探り、被害発生場所に通じる獣道の脇に設置します。作物の近くで捕獲する場合は、侵入防護柵で作物を守り柵沿いに設置します。

アライグマの移動ルートに設置できれば、同じ場所で通年の捕獲が可能になります。また、地域全体で継続した捕獲を取り組むことで、生息密度の低下に結び付けることができます。



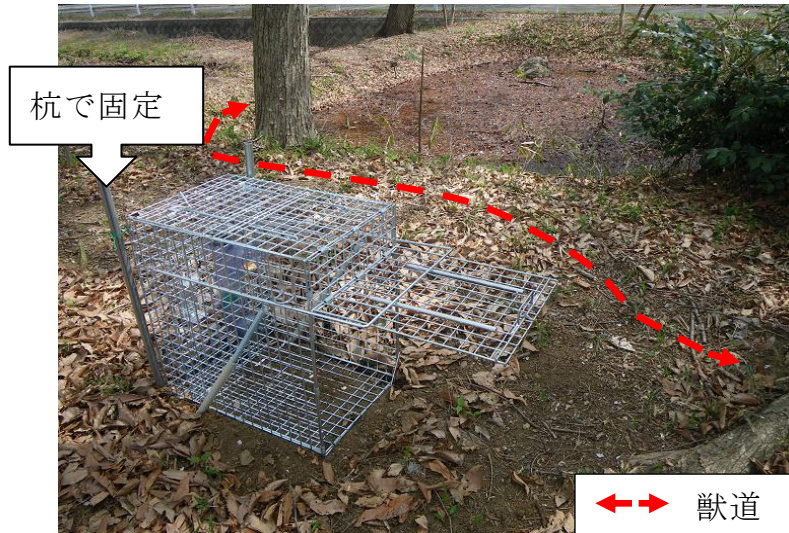
移動経路を探る：作物へ向かうアライグマ親子の足跡



建物への侵入経路（左）、建物に侵入したアライグマ（右上）、爪痕（右下）

○捕獲器は平らな場所に設置し、転倒を防止するために杭等で固定する

斜面地や水路の脇などに設置した場合、捕獲されたアライグマが暴れた時に転倒し落下する恐れがあります。また、転倒により扉のロックが外れてしまうこともあるので、杭に針金等で固定します。



ラクーンキューブを設置した様子

3 捕獲器の管理について

○餌は嗜好性の高いものを使用し、定期的に交換する

ラクーンキューブは、キャットフードなど嗜好性の高い物でも安心して使用することができ、捕獲効率の上昇に繋がります。筒内部の餌は動物に持ち去られることがないため、腐敗する前に交換します。

○捕獲できない場合は、異なる種類の餌に替えるか設置場所を変える

例えば、作物の近くに設置してあり、アライグマが来ているのに捕獲できない場合は、作物からできる限り離れたアライグマの移動ルートに設置します。

○撒餌の撒き過ぎに注意

撒餌で空腹が満たされてしまうと、筒内の餌まで誘引できなくなってしまうため、少量の撒餌で無くなったら追加する程度で大丈夫です。

○使用する餌（参考）

キャットフード、ドッグフード、ドーナツ、コーン菓子などの乾物が扱いやすく、餌は筒の底に少量（キャットフード：1握り、ドーナツ：1個程度）で匂いが出ていれば十分です。大量に入れるよりも定期的な交換（週1回程度）が重要で、特に梅雨時期や夏の時期は腐敗が早いため、こまめに交換します。

撒餌でドーナツなどの大きいものを使用する場合は細かく砕いて捕獲器内に撒きます。細かく砕くことにより、アライグマの滞在時間を長くすることが可能になり、筒内の餌まで誘引しやすくなります。

○餌の置き方（例）

住宅地等に設置しネコが餌付いてしまう場合は、撒餌はやめて筒内の餌のみで対応します。

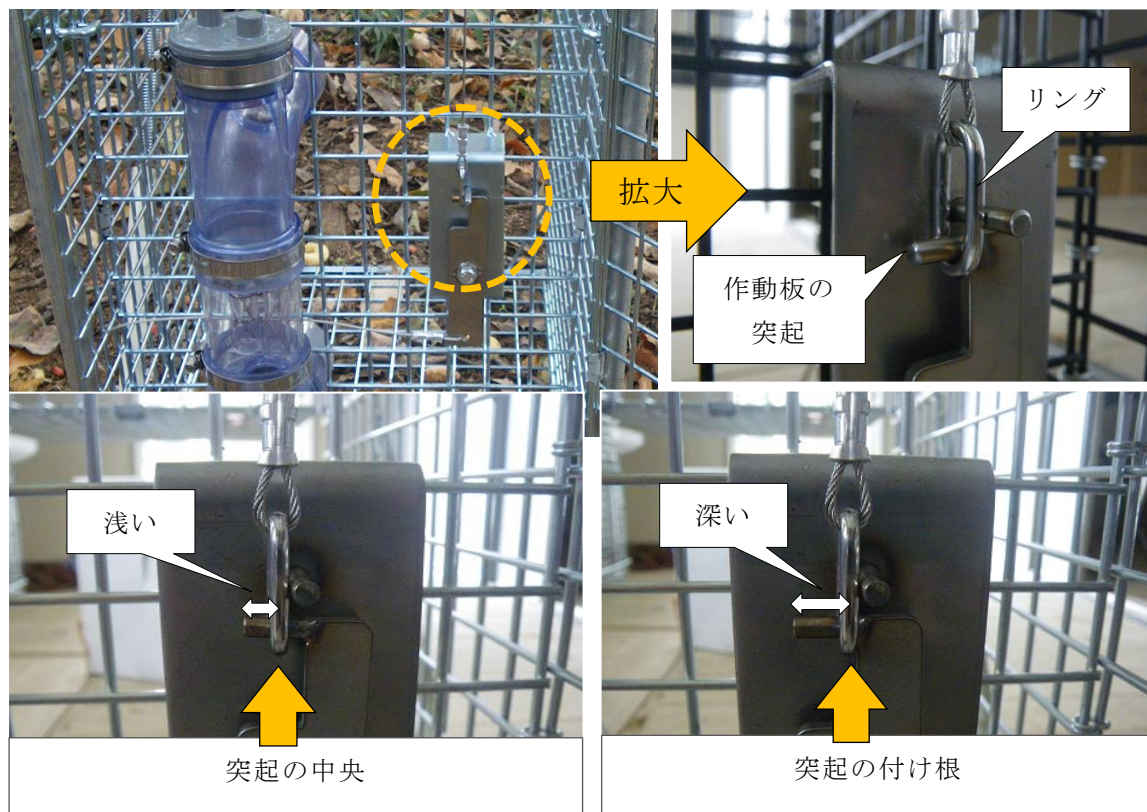


餌の置き方（前肢挿入口：左上、筒内：左下、捕獲器内：右）

○トリガーの仕掛け方

扉と連動するワイヤーの先に取り付けてあるリングは、作動板の突起に浅く掛けたほうが軽い力で外れます。

油分が付着した手でリングや作動板の突起に触れると、リングが滑りやすくなり、扉を開いた状態が保てなくなるため注意してください。



作動板の突起にワイヤーを掛けた様子



ラクーンキューブで捕獲されたアライグマ

アライグマの捕獲には許可が必要です。また、捕獲個体の取り扱いについては各自治体で異なるため、自治体の指示に従いましょう。

- | | |
|-----------|---|
| [事業名] | 農林水産省 委託プロジェクト研究
「野生鳥獣被害拡大への対応技術の開発」 |
| [研究課題名] | 中型野生動物における小型捕獲器に対する
行動特性の解明と捕獲器の開発 |
| [発 明 者] | 埼玉県・(有)栄工業 |
| [特許出願] | 特願 2018-227867 |
| [意匠登録] | 動物捕獲用仕掛具 第1610473号 |
| [意匠登録] | 動物捕獲器 第1610474号 |

写真等を転載する場合には、当センターの了解が必要です。
希望される場合は下記までご連絡ください。

企画担当 電話 048-536-0312
FAX 048-536-0315